

令和4年度事業報告

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

公益財団法人 富山県防犯協会

富山県における令和4年の刑法犯認知件数は、統計が取られ始めた昭和29年以降、最少の数値となる3,929件を記録するなど、犯罪抑止対策は目に見える形で成果を上げています。

ただ、特殊詐欺については、認知件数が数年前からほぼ横ばいで推移し、令和4年の被害総額は前年から4割以上も増加して1億4,485万6,711円に及びました。また、子供や女性に対する「声掛け」や「つきまとい」などについても高止まりで推移しており、依然として減少する傾向にありません。

さらに、全国に目を向けると、令和4年は、都市部を中心に凶悪かつ組織的な強盗事件が多発したほか、学校への不法侵入事件も発生しており、同様の犯罪が県内で発生することも懸念されました。

一方で、犯罪抑止に重要な役割を果たし、継続的な活躍が期待されている防犯ボランティア団体については、構成員の高齢化と後継者の確保難などから全国的に減少傾向が続いており、富山県も例外ではなく同様の問題に直面しています。

このような情勢の下、富山県防犯協会では、富山県、富山県警察、自治体、地区防犯協会、事業者、防犯ボランティア等の関係機関・団体及び地域住民の皆様と気持ちを一つにし、「日本一安全・安心な県」の実現に向けて、令和4年度に以下の事業を推進しました。

1 防犯活動推進事業

事業項目	事業内容
(1) 防犯研修・講習	<p>ア 子供を対象とした防犯教室の開催 こども安全サポーターが、派遣要請に基いて県内の幼稚園、保育園、小学校等に出向き、年間240回、合計14,075名(園児11,594名、児童2,287名)に対して防犯教室を開催し、誘拐、わいせつ事案等からの被害防止、不審者への対処要領、防犯資機材(防犯ブザー、防犯ホイッスル等)の使用方法や「こども110番の家」の活用方法を指導した。</p> <p>イ 子供の保護者を対象とした防犯教室の開催 前記「ア」の防犯教室には、子供の保護者等194名が参加しており、「子供を対象とした防犯教室」における安全教育内容を周知するとともに、チラシ等を配付して誘拐やわいせつ行為などの被害防止に関する啓発を行った。</p> <p>ウ 防犯講習の実施 防犯サポーターが、地区防犯協会、市町村、地区安全なまちづくり推進センター、防犯関係機関・団体等からの派遣要請に基づいて防犯研修会等に出向き、年間9回、延べ約480名に対して防犯講習を実施した。</p>

	<p>エ 地区防犯協会事務局等研修会の開催 4月21日(木)、富山県市町村会館において、各地区防犯協会事務局長等(計13名)に対し、「県内の各種犯罪発生状況」「特殊詐欺被害抑止対策」等を主な内容とした研修会を開催した。</p> <p>オ 富山県防犯パトロール隊連絡協議会総会・研修会の開催 6月3日(金)、富山県市町村会館において開催した総会に併せて研修会を開催し、各地区防犯パトロール隊連絡協議会の会長、地区防犯協会事務局長等(計28名)に対して、「ホットスポット・パトロール」に資することを目的に「犯罪機会論と防犯環境設計」に関する研修を実施した。</p> <p>カ 富山県金融機関防犯協会理事・幹事会及び研修会の開催 6月14日(火)、富山県警察本部において開催した理事会・幹事会に併せて研修会を開催し、各金融機関からの代表出席者等(計28名)に対して、「金融犯罪の発生状況と抑止対策」「特殊詐欺の現状と被害防止対策」等を主な内容とした研修を実施した。</p> <p>キ 富山県防犯連絡所協議会連合会総会・研修会の開催 6月28日(火)、富山県市町村会館において開催した総会に併せて研修会を開催し、地区防犯連絡所協議会の総代、地区防犯協会事務局長等(計30名)に対して、「県内の犯罪情勢と犯罪抑止対策」「子供と女性の安全対策」等を主な内容とした研修を実施した。</p> <p>ク 富山県金融機関防犯協会年末防犯研修会の開催 11月16日(水)、富山県警察本部において、各金融機関からの代表出席者等(計30名)に対し、「特殊詐欺被害の現状と防止対策」「金融機関対象の強盗事件発生状況と対応」「G7広島サミット関係閣僚会合に向けた企業・団体のサイバー攻撃対策」等を主な内容とした研修会を開催した。</p>
<p>(2) 巡回パトロール支援等</p>	<p>ア 犯罪抑止を目的とした巡回パトロール活動 県警察の「安全情報ネット」で配信される不審者情報又は犯罪発生情報に基づき、不審者目撃地域又は犯罪発生地域において、また、不特定多数の者が利用する鉄道駅の駐輪場等を対象として、青色回転灯装備車両による防犯サポーターの巡回パトロールを計129回実施した。</p> <p>イ 通学路等における巡回パトロール活動 児童等の下校時間帯や小学校の入学式及び卒業式を中心に、青色回転灯装備車両によるこども安全サポーターの巡回パトロールを計84回実施した。</p> <p>ウ 中学・高校等の駐輪場における自転車施錠率実態調査 防犯サポーターが県及び県警察と連携し、中学・高校等の駐輪場を巡回して施錠実施率の実態調査を実施するとと</p>

	<p>もに、施錠推進広報を実施して生徒の防犯意識高揚を図った(計4回)。</p> <p>エ 学校に対する危機管理マニュアルや避難訓練等の助言 県、県警察及び県教育委員会と連携して、県から委嘱された「学校安全アドバイザー」を小学校、中学校等に派遣し、危機管理マニュアルや避難訓練の点検、見直し、助言等を実施した(小学校2校、中学校及び高等学校各1校の計4校)。</p>
<p>(3) 防犯の普及啓発</p>	<p>ア 各種広報資料の作成配布等</p> <p>(ア) 「地域安全とやま(広報誌)」を年3回(春、秋及び冬号各8,000部)発行し、県内の関係機関・団体へ配付した。</p> <p>(イ) 防犯ボランティアの活動を支援するため、関係団体に対し、「防犯ボランティア活動マニュアル」「防犯連絡所活動マニュアル」「青パト活動マニュアル」等を配付した。</p> <p>(ウ) 特殊詐欺を始めとする多発犯罪被害の予防チラシ、防犯啓発物品等を作成し、各種会合及び研修会で配布した。</p> <p>(エ) 子供に関する防犯用資料(漫画、ぬり絵、保護者向けの資料等)を作成し、子供又は保護者を対象とした防犯教室で配布した。</p> <p>(オ) 全国防犯協会連合会が作成した冊子「特殊詐欺犯罪被害防止 決まり手10」「最新サイバー犯罪 撃退BOOK」、及び県が作成したチラシ「だまされない！悪質商法に注意！」を配布した。</p> <p>(カ) 全国防犯協会連合会が制作したDVD「青パト活動マニュアル【映像版】」の貸出を行った。</p> <p>イ 各種防犯情報の提供 県警察と連携し、金融機関、コンビニエンスストア等とのファックスネットワークによる特殊詐欺等の発生に関する注意喚起、窓口対策の強化などの情報を発信した。 また、地区防犯協会等の関連団体へ防犯広報素材を提供した。</p> <p>ウ 「富山県安全なまちづくり推進大会」「全国地域安全運動富山県民大会」の開催 10月5日(水)、富山県教育文化会館において、県及び県警察と共に「第18回富山県安全なまちづくり推進大会」「第29回全国地域安全運動富山県民大会」を主催し、県内における防犯活動の普及啓発を推進した。</p> <p>エ 各種関係機関、団体が開催する会議等への出席</p> <p>(ア) 富山県安全・安心アカデミー開講式、ワークショップ等</p> <p>(イ) 社会を明るくする運動富山県推進委員会</p>

	<ul style="list-style-type: none"> (ウ) 富山県万引き防止対策協議会総会 (エ) 富山県犯罪被害者等支援協議会 (オ) 富山県防犯設備協会総会 (カ) ボランティア活動推進富山県民会議／富山県民ボランティア総合支援センター総会 (キ) とやま被害者支援センター通常総会 (ク) 中部ブロック防犯ボランティアフォーラム (ケ) 青少年育成富山県民会議総会 (コ) くらしの安心ネットとやま情報交換会 (サ) 富山県民だまされんちゃ官民合同会議 (シ) 都道府県防犯協会専務理事・事務局長会議／風俗環境浄化事業運営管理者研修会 (ス) 全国地域安全運動中央大会 (セ) 地域安全・暴力追放魚津市民大会 (ソ) 暴力追放富山県民大会 (タ) 富山県安全なまちづくり推進本部会議 (チ) 学校安全アドバイザー派遣事業推進委員会 (ツ) 市町村「安全なまちづくり・交通安全・犯罪被害者等支援」担当者会議
<p>(4) 防犯ボランティア団体への支援</p>	<p>ア 防犯ボランティア団体研修会等への講師派遣 県内の防犯ボランティア団体が開催する研修会等に、職員を講師として派遣し、犯罪発生状況、防犯対策、防犯パトロール実施要領等を講習した。</p> <p>イ ボランティア保険の加入促進 民間パトロール隊員を始めとした防犯ボランティアに対するボランティア保険の加入を促進し、計13,820名が加入した。</p> <p>ウ 地区防犯協会の助成事業 地区防犯協会の活動を支援するため、活動経費の一部を助成した。</p>
<p>(5) 防犯功労者等表彰の実施</p>	<p>ア 地域安全功労団体(8団体)</p> <p>イ 防犯功労者(15名)</p> <p>ウ 優良防犯連絡所(12名)</p> <p>エ 職域防犯功労団体(2団体)</p> <p>カ 地域安全功労警察官(4名)</p> <p>キ 防犯ポスター及び防犯標語入選者(30名)</p> <p>ク 優秀地区防犯協会(6団体)</p> <p>ケ その他</p> <p>上記表彰のほか全国地域安全運動中央大会では、県内関係者及び団体から、警察庁長官及び全国防犯協会連合会長連名表彰で9名2団体、中部管区警察局長及び中部防犯協会連絡協議会長連名表彰で6名2団体がそれぞれ受賞した。</p>

2 風俗環境適正化事業

事業内容
(1) 風俗営業管理者定期講習の開催 5月から11月までの間に計7回開催し、合計146名の受講者に講習した。
(2) 許可申請及び構造変更申請に伴う現地調査 警察署からの調査依頼に基づき、風俗営業新規許可申請25件について現地調査を実施した。

3 防犯関連商品等取次事業

事業内容
(1) 古物商標識板の作成 県公安委員会から古物営業の許可を受けた古物商からの申請により、標識板(計154枚)を作成した。
(2) 金融機関対象防犯装備資器材の斡旋 金融機関に対し、「警察官立寄所」のプレート及び強盗事件対策用のクラックボール等防犯装備資器材を斡旋した。
(3) 防犯ボランティア対象防犯装備資器材の斡旋 防犯ボランティアによるパトロール活動の効果向上及び円滑化を図るための地域安全腕章等を斡旋した。

4 法人管理事業

事業内容
(1) 理事会及び評議員会の開催 ア 第1回定時理事会【令和4年5月18日(水)、富山県市町村会館】 令和3年度事業報告、令和3年度決算、令和4年度定時評議員会の開催(案)、参与の選任(案)等について審議が行われ、全ての議案が承認又は可決された。 イ 定時評議員会【令和4年6月9日(木)、富山県市町村会館】 令和3年度決算、評議員の辞任に伴う補欠選任(案)、理事・監事の任期満了に伴う選任(案)について審議が行われ、全ての議案が承認又は可決された。 ウ 臨時理事会【令和4年6月9日(木)、富山県市町村会館】 代表理事及び業務執行理事の選定(案)について審議が行われ、当該議案は、代表理事を岩脇秀三、業務執行理事を西村茂及び盛永章祥として可決された。 エ 第2回定時理事会【令和5年3月9日(木)、岩瀬カナル会館】 令和5年度事業計画(案)、令和5年度収支予算(案)、副会長の選任(案)、就業規則の一部改正(案)、電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程(案)、新規賛助会員の入会(案)について審議が行われ、全ての議案が承認又は可決された。
(2) 適正な法人会計事務の推進 認定経営革新等支援機関として国に認定された税理士法人から、経営相談、財務分析、事業計画作成等に関する支援を受け、適正な法人会計事務を推進した。
(3) 賛助会員募集業務の推進

活動基金の充実を図るため、賛助会員募集業務を推進し、令和5年度から(株)ホクタテ、アルビス(株)、西日本電信電話(株)富山支店、(株)オフィスケイ、富山県警友会、富山県軽自動車協会、(一社)富山県指定自動車教習所協会、(株)パトロード富山、セコム北陸(株)富山統轄支社及びトヨタカローラ富山(株)の計10法人・団体が新たに賛助会員として加入することとなった。

事業報告の附属明細書

令和4年度事業報告には、「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、定款第8条第1項第2号に規定する事業報告の附属明細書は作成しない。